



World Food Programme

Programme Alimentaire Mondial

Programa Mundial de Alimentos

برنامج الأغذية العالمي

ファミリーマート夢の掛け橋募金 2016 年度第 1 四半期ご報告書

2016 年 11 月 国連 WFP 協会

1. ご支援額 : 4,884,537 円
2. 送金国・プロジェクト : ミャンマー連邦共和国・学校給食プログラム
3. 具体的な使途 : 162,817 人 (2016 年支援予定対象者約 1/3 に相当) の 1 日分の給食に相当 (未就学児と小学校の児童に 75g の栄養強化ビスケットを支給。)
4. プロジェクト期間 : 2013 年 1 月 ~ 2017 年 12 月



栄養強化ビスケットを食べる子どもたち



小学校の教室の様子

1. 国概要

国名	ミャンマー連邦共和国	
地図・国旗		
面積	68 万平方キロメートル (日本の約 1.8 倍)	
人口	5,141 万人 (2014 年 9 月、ミャンマー入国管理・人口省発表)	
公用語	ミャンマー語	
宗教	仏教 (90%), キリスト教, 回教等	
主要産業	農業	
一人当たり GDP	1,113 ドル (2013/14 年度, IMF 推計)	

失業率	約 4.0% (2013/14 年度, IMF 推計)
人間開発指数	188 国中 148 位 (2015 年, UNDP)

出典：外務省ホームページ、WFP ホームページ

2. 国連 WFP 支援背景

経済状況

- ・ミャンマーは東南アジアで 2 番目に大きな国だが、とても貧しく、1,300 万人以上(人口の 26%以上)が貧困基準(1 日あたり 1.9 米ドル)以下の生活を送り、300 万人が家計のほとんどを食費に費やさざるを得ない状況である。1948 年の独立以降、長期的な民族紛争やコミュニティ間の紛争などにより発展が遅れ、国民の多くが移住を強いられてきた。

食糧・栄養事情

- ・最低 780 万人(国の約 15%)が栄養不足である。(遠隔地の一部が未調査のため、実際には更に多くの人数が栄養不足と推測できる。) 各家庭の近くに店舗や市場が無く、十分な栄養を摂れていないことも大きな要因である。
- ・5 歳未満の 35%が発育阻害(身長に対し低体重)であり、大変深刻な状況である。

教育状況

- ・最新の統計では、小学校の平均就学率は 88%、75%の児童が最終学年の 5 年生まで就学している。しかし、卒業試験に合格しての卒業率は 54%に留まっている。民族紛争が激しいラカイン州での小学校の就学率は 71%に留まっており、国内の格差も発生している。

3. 国連 WFP 学校給食プログラム支援内容

- ・ミャンマー政府、ユニセフ、NGO とパートナーシップを組み、未就学児と小学校の児童に毎日 75g の栄養強化ビスケットを支給。

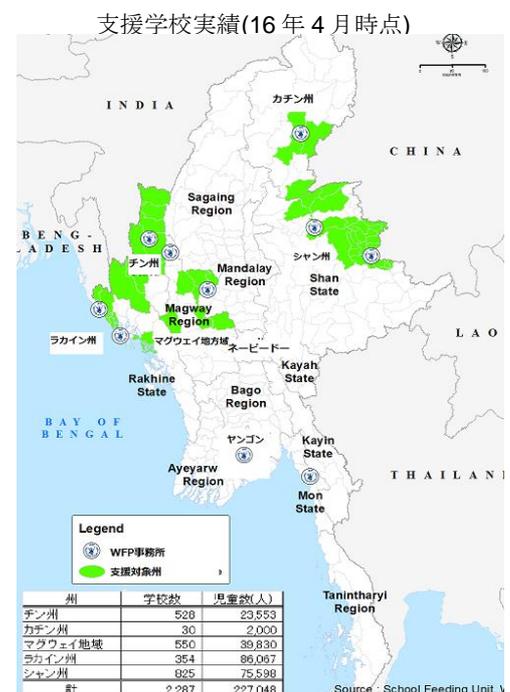
事業目標

- ・就学率、出席率の向上、及び、中退率の減少。
- ・短期的な飢餓の解消、及び、微量栄養素不足の解消。

2016 年支援予定

- ・対象人数：500,000 人
- ・対象学校数：4,000 校
- ・必要予算：820 万米ドル(約 8.4 億円)
- ・不足予算：520 万米ドル(約 5.3 億円)

⇒ 資金不足が続くと支援対象者数や、配布日数を減らさざるを得ない状況になる。



4月時点で予定人数の45%にしか支援できていない。

2015年支援実績

	予定		実績		達成割合	
	支援対象者数	配布日数	支援対象者数	配布日数	支援対象者	配布日数
栄養強化 ビスケット	208,000人	176日	187,199人	75日	90%	42.6%
持ち帰り食糧*	72,000人	N/A	26,615人	N/A	37%	N/A

* 児童が一定(80%)の出席率を達成した場合に家庭用のお米を毎月 10kg 支給していたが、方針転換のため、年度途中で中止。

今後の展望

- ・資金不足の早急な解消が必要である。このまま資金が不足すると学校給食の停止などの措置を取らざるを得ない。
- ・いずれ、国連 WFP の支援無しでもミャンマー政府が学校給食を提供できるように、ニーズ調査、モニタリング活動など含め、政府の能力を強化させていく支援を行う。